

# 院内がん登録から見える —大腸癌—

広島市立広島市民病院  
医療支援センター 診療情報管理室

梅本 礼子

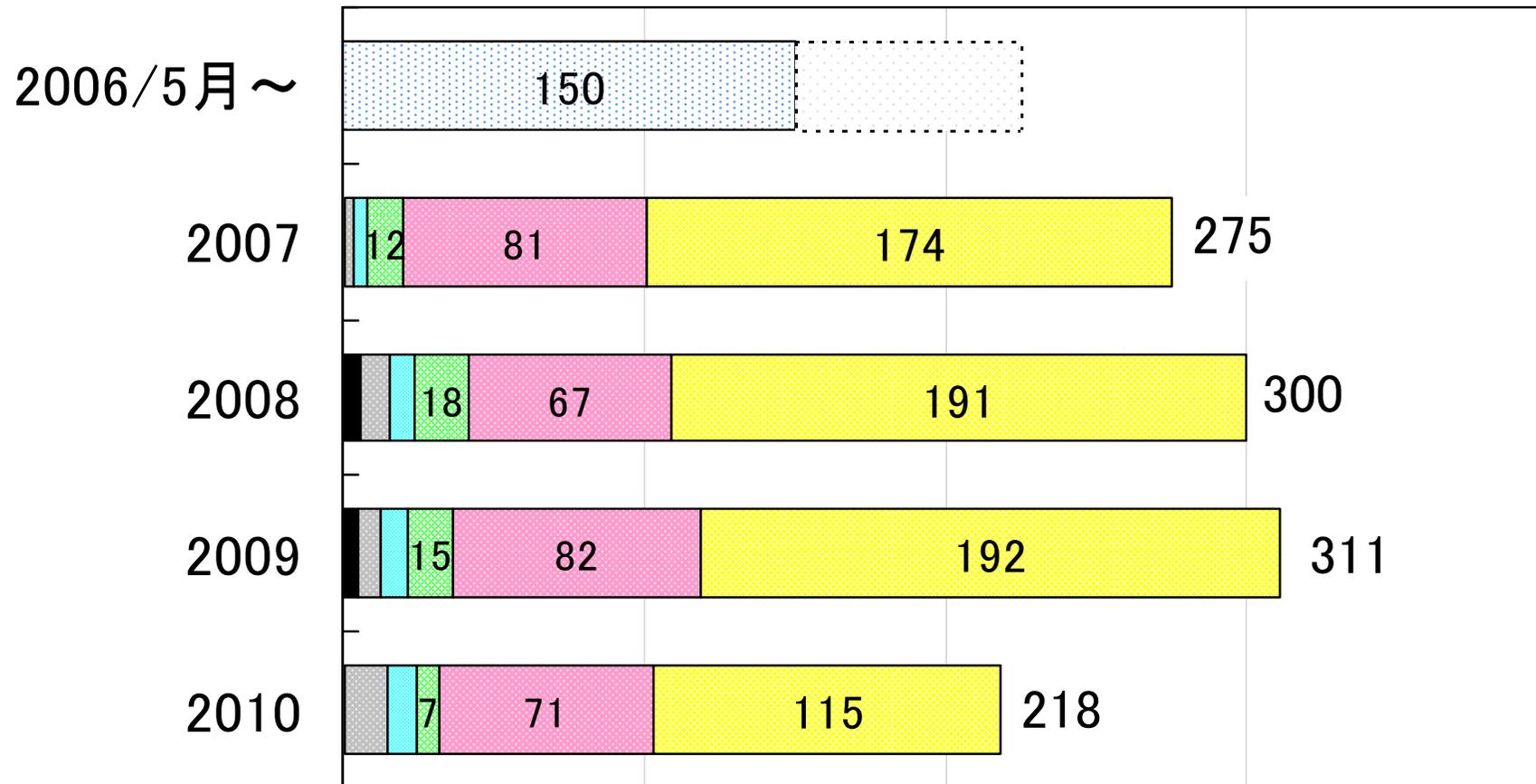
国立がんセンター院内がん登録中級者  
国立がんセンター院内がん登録指導者  
国立がんセンターがん登録実務者研修専門家パネル委員



症例区分	生存率を算定する上で対象となる症例範囲を決定する区分 症例区分2: 診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例 症例区分3: 他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行がなされた症例。 上記を集計対象とし、算出することとする。
治療前ステージ	UICCの定めるステージング方法に基づき、何らかの治療の行われる以前につけられた病期を指す。 我国の通常臨床現場で使用されるがん取扱い規約に基づくステージとは若干異なる部分がある。 癌腫が分類の対象となっていることから、組織診断名コードをもとに、肉腫やリンパ腫、カルチノイドを除いて集計している。
治療	登録対象となったがんに対する初回治療である。
初回治療	治療開始時点で計画された一連の治療のことであり、症状・治療の進行に従って後に追加された治療は含まれないことに注意する必要がある。特に当初、経過観察が計画されて病状が悪化したために治療が行われた場合も初回治療はなしとなる。初回治療として計画されていても、他院で施行されたものは登録されず、登録施設で行われた治療のみが登録対象となる。症状緩和的な目的でおこなわれた手術や放射線治療も部分的に腫瘍に対する治療であるといえることから、登録対象の治療に含まれる。

# 院内がん登録 大腸癌 症例区分別登録数推移

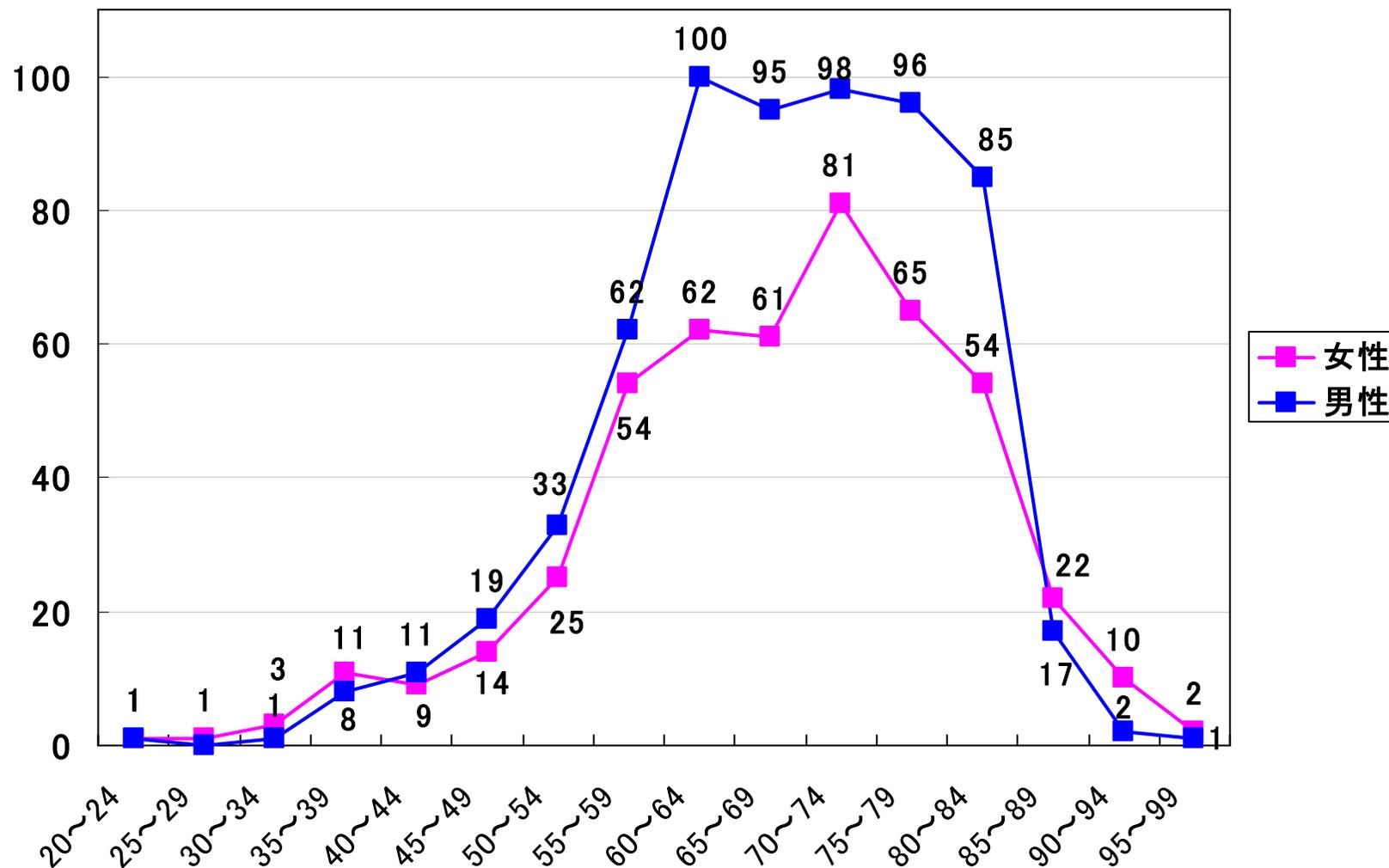
2007年～2010年 1104例



- セカンドオピニオン
- 診断のみの症例
- 継続治療の症例、再発の症例
- 他施設で診断、当院で初回治療症例
- 当院で診断・初回治療症例

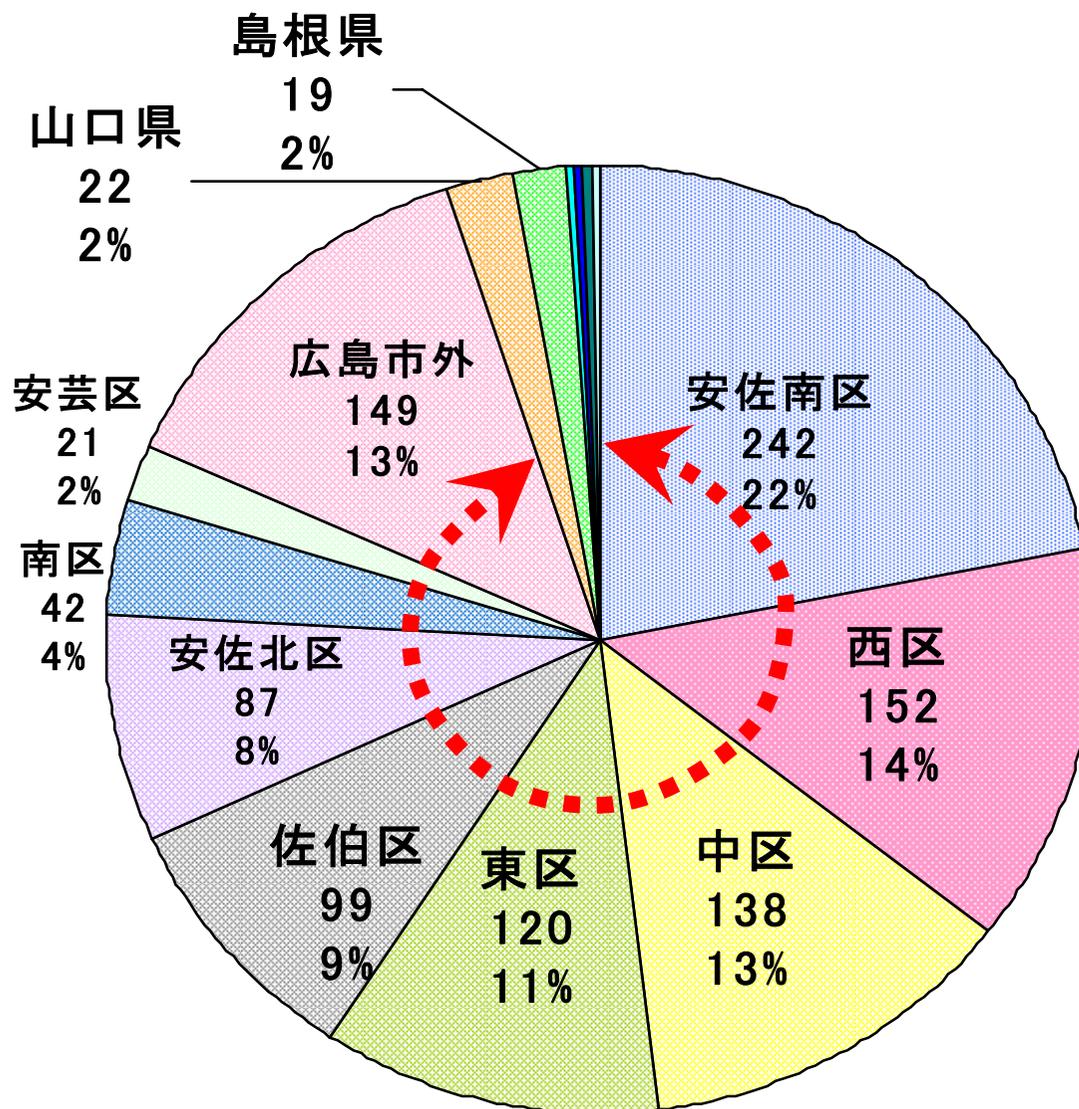
# 院内がん登録 大腸癌 年齢階級別罹患数

(2007年～2010年 1104症例)



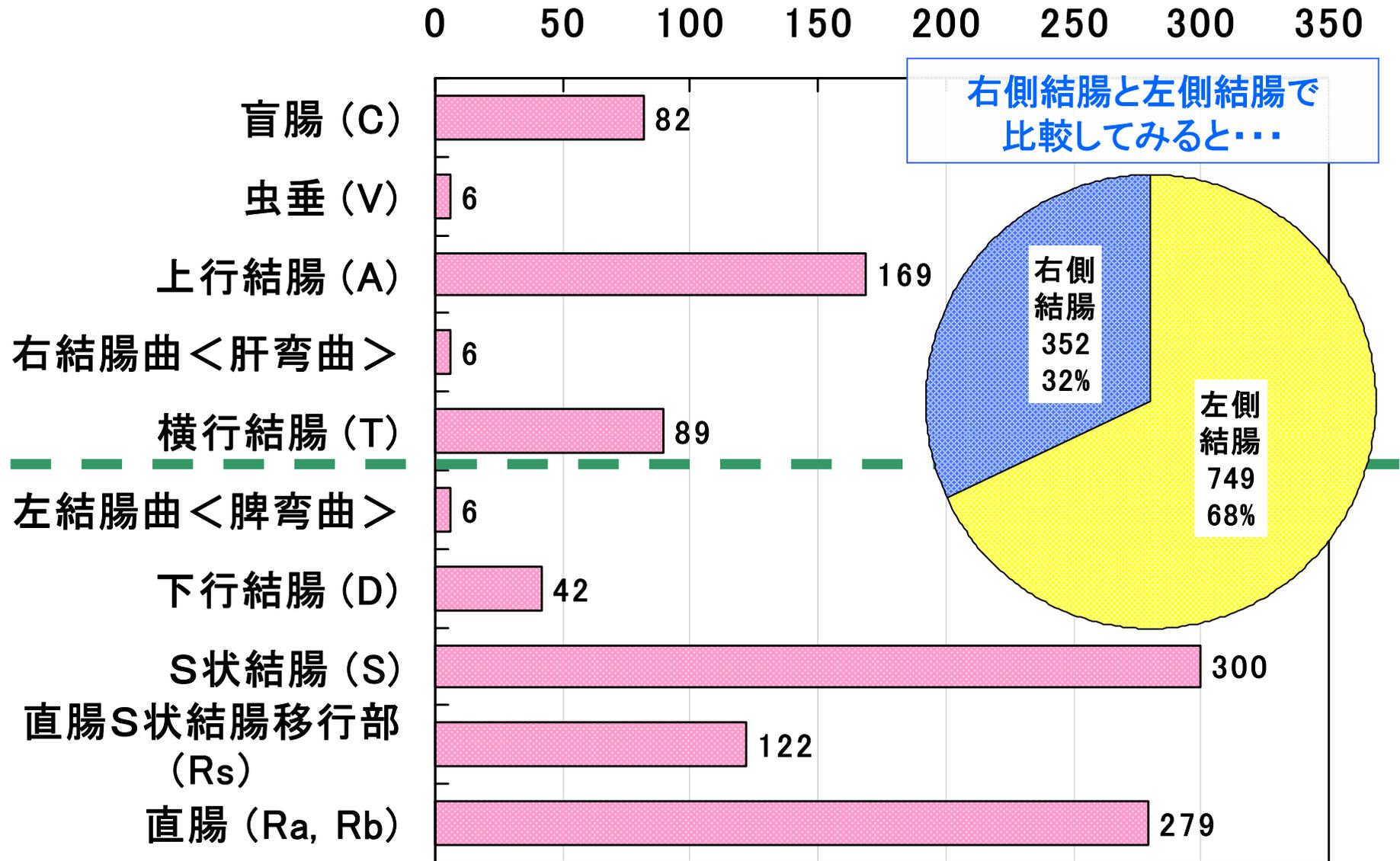
# 大腸癌患者さんの居住地域別割合

(広島市民病院 2007年～2010年 1104症例)

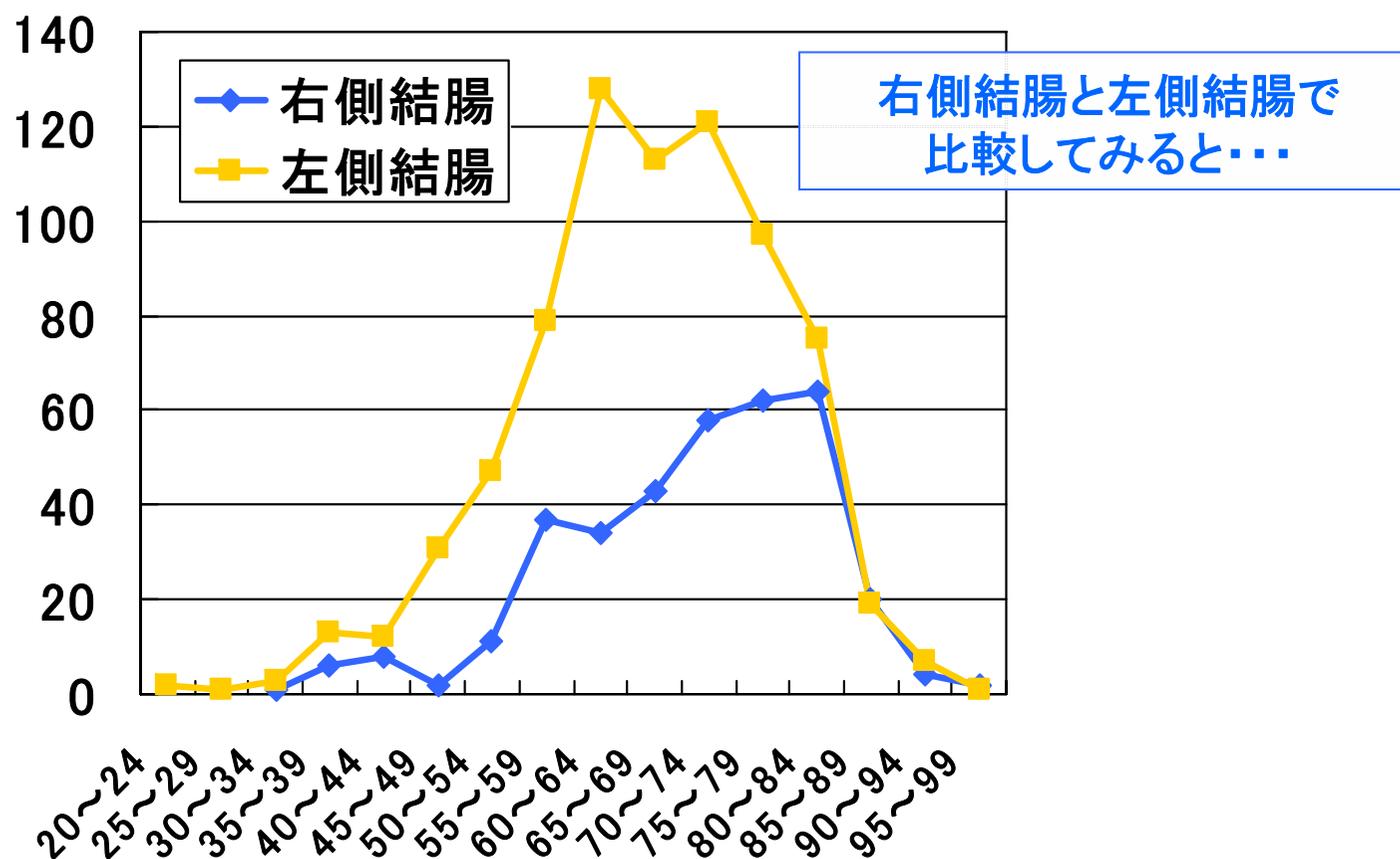


県別	件数
広島県	1050
山口県	22
島根県	19
岡山県	3
愛媛県	3
兵庫県	2
福岡県	1
大阪府	1
千葉県	1
静岡県	1
香川県	1

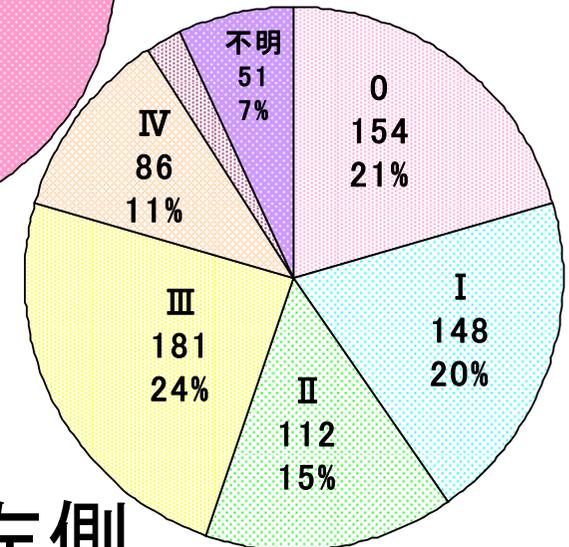
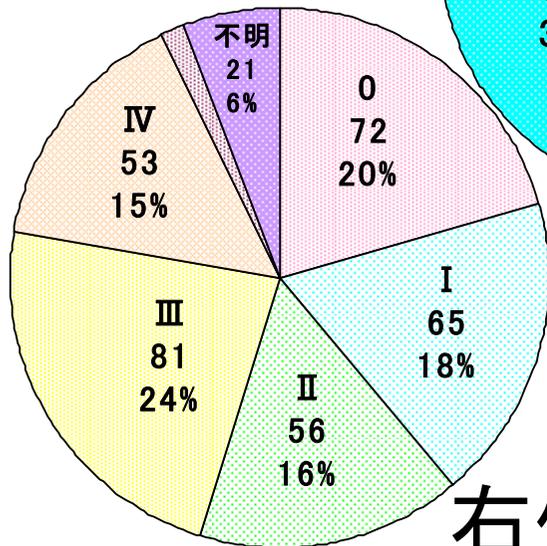
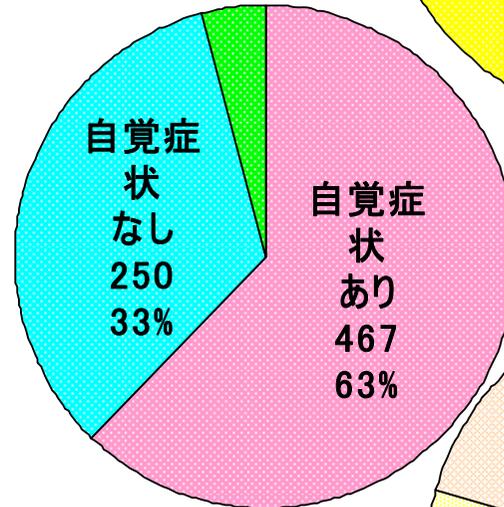
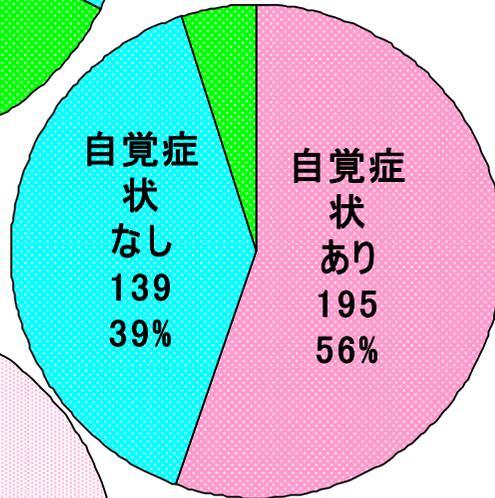
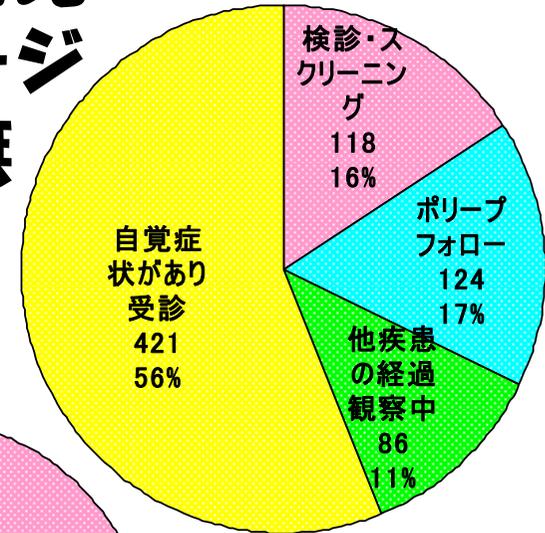
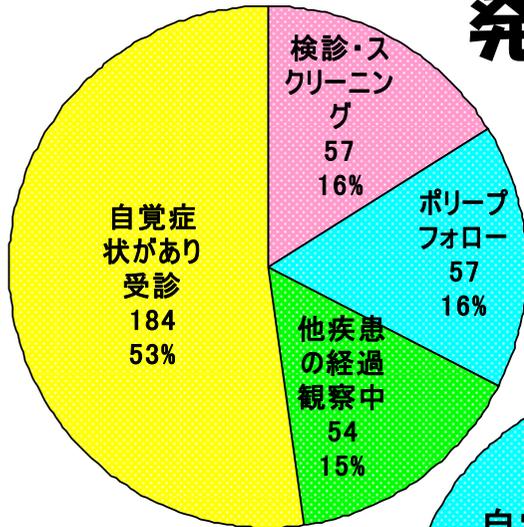
# 大腸がん登録症例数（発生部位別）



# 左側結腸・右側結腸の対比 年齢層別



# 左側結腸・右側結腸の対比 発見経緯・治療前ステージ 発見前自覚症状の有無



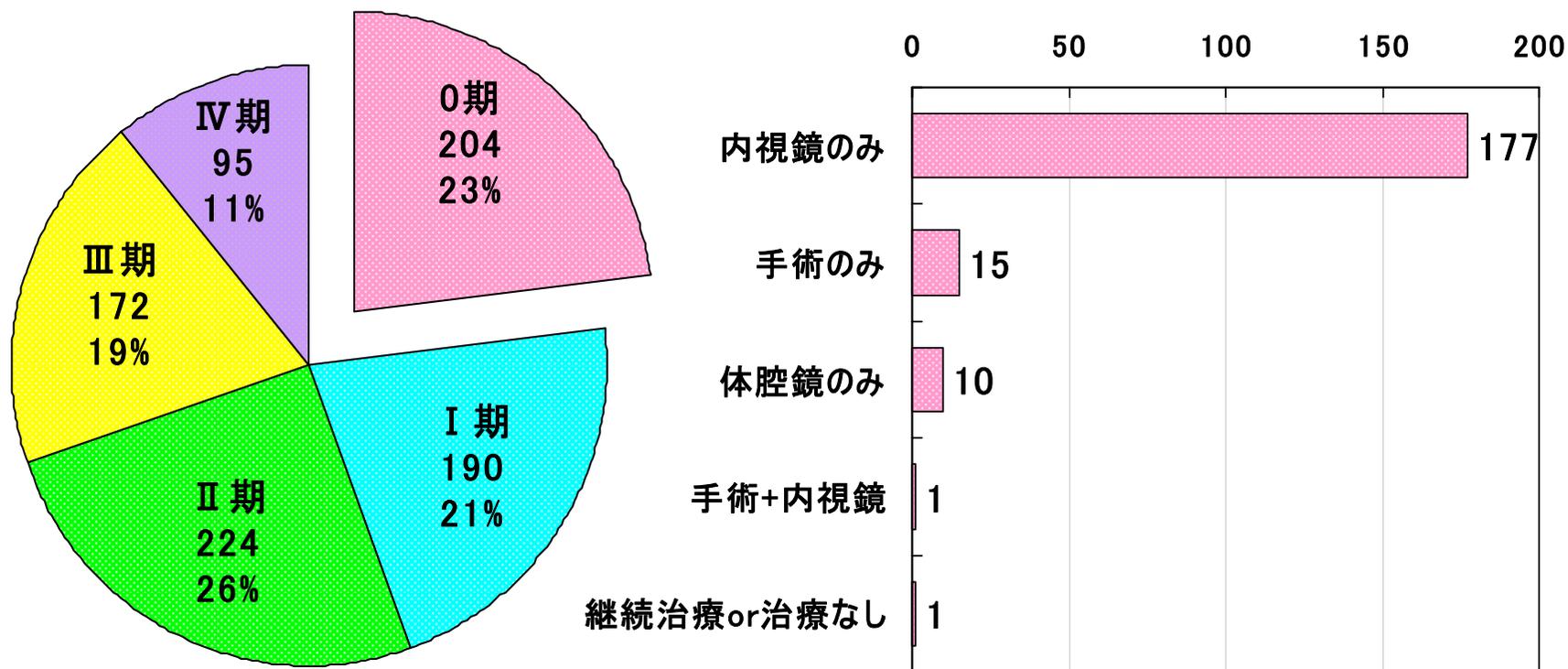
右側結腸と左側結腸で  
比較すると、今回の集計では  
有意な差は見られませんでした。

右側

左側

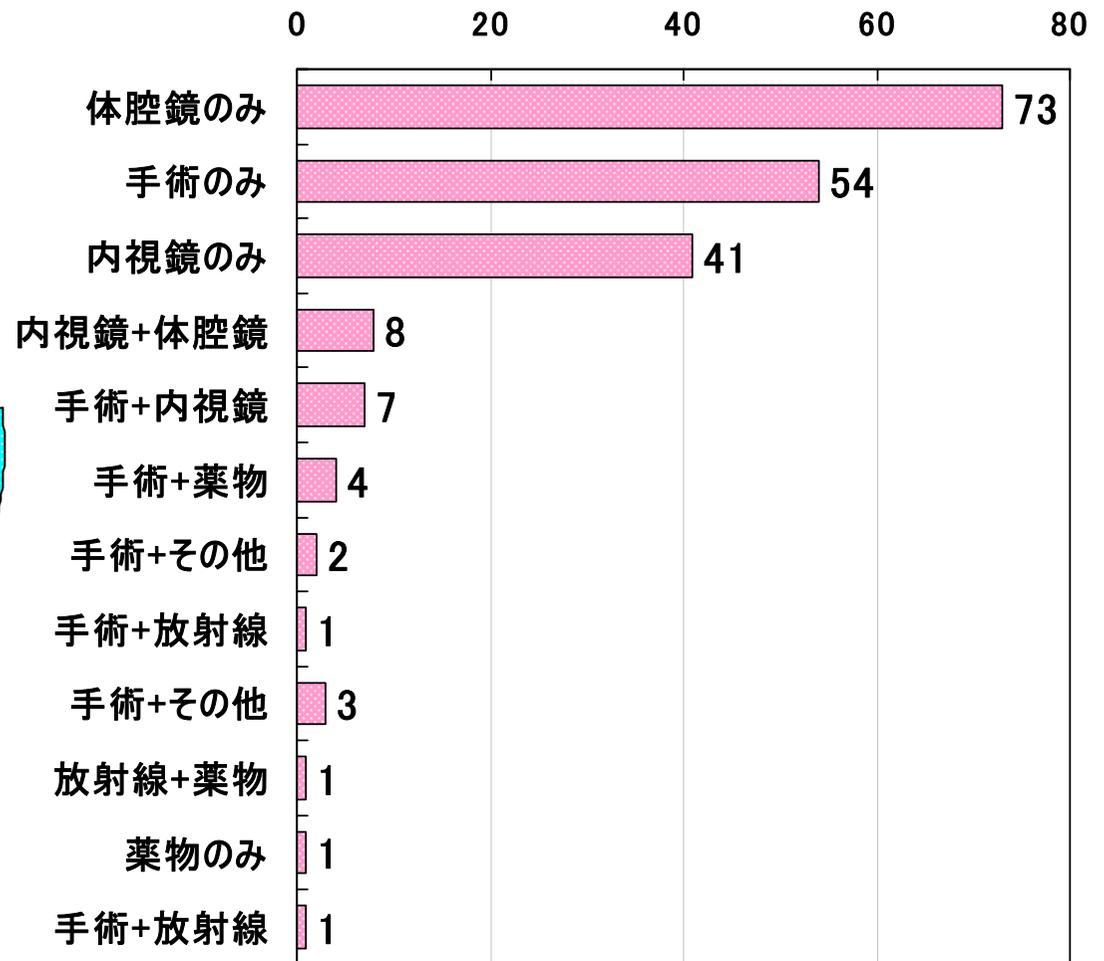
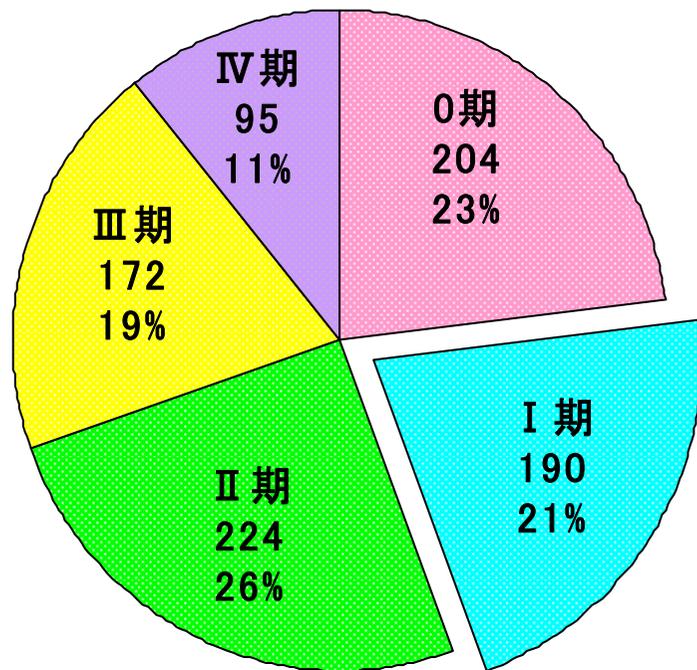
# 大腸癌術後病期0期 (UICC) の初回治療法の割合

(2007年～2010年 大腸がん 症例区分2, 3 癌腫のみ 885症例を対象とする)



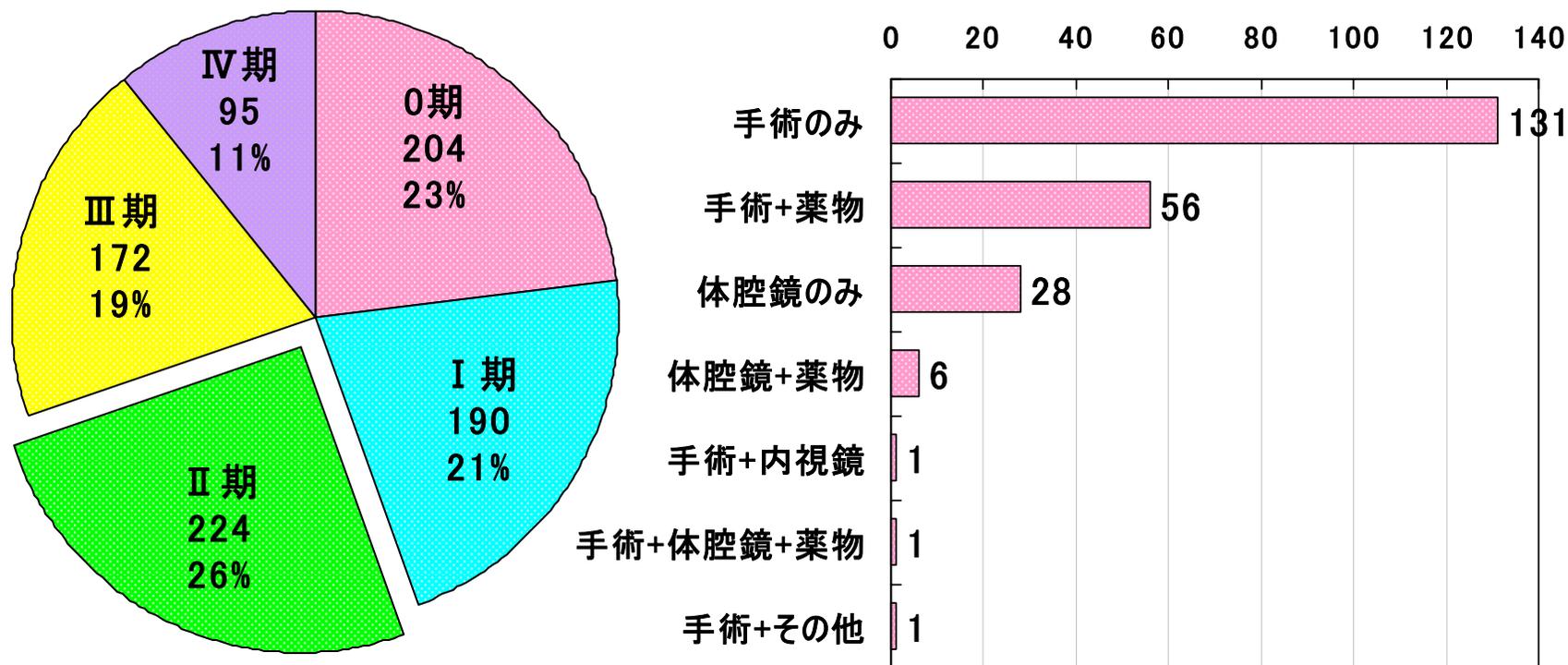
# 大腸癌術後病期 I 期 (UICC) の初回治療法の割合

(2007年～2010年 大腸がん 症例区分2, 3 癌腫のみ 885症例を対象とする)



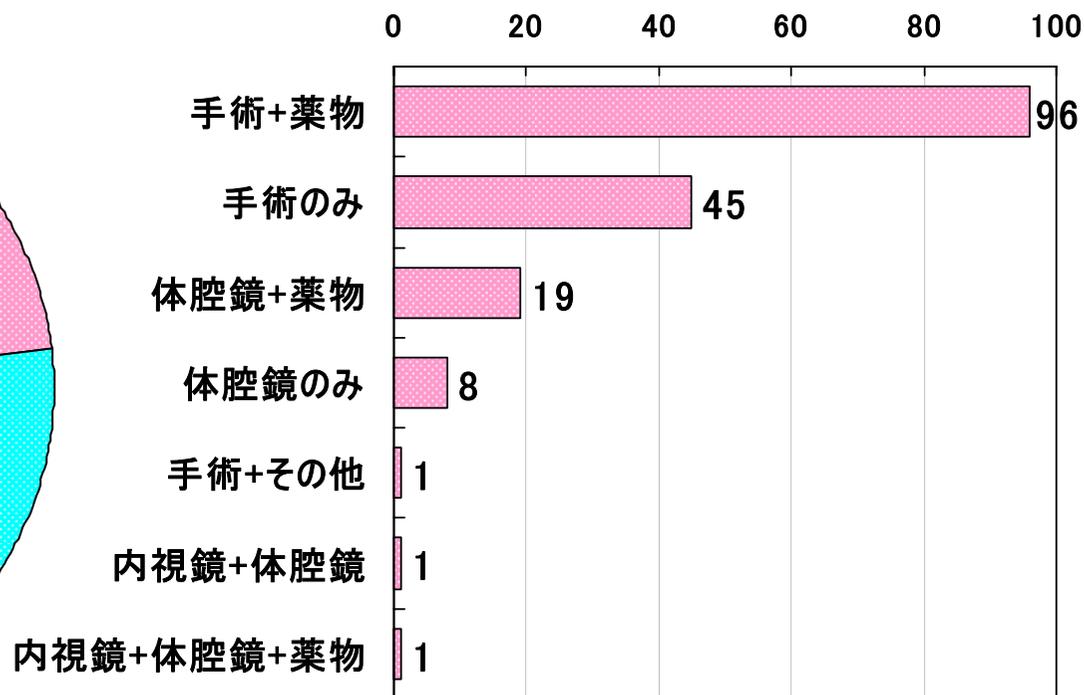
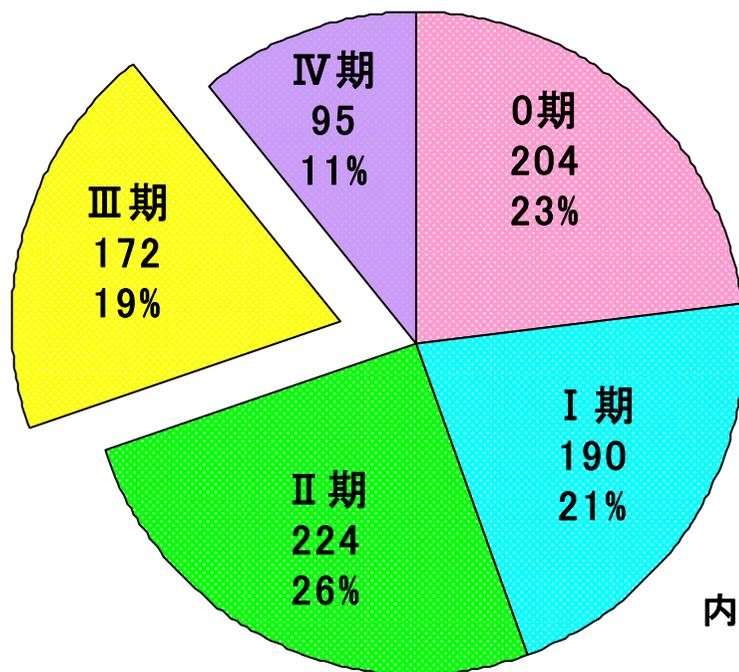
# 大腸癌術後病期II期（UICC）の初回治療法の割合

(2007年～2010年 大腸がん 症例区分2, 3 癌腫のみ 885症例を対象とする)



# 大腸癌術後病期III期（UICC）の初回治療法の割合

（2007年～2010年 大腸がん 症例区分2, 3 癌腫のみ 885症例を対象とする）

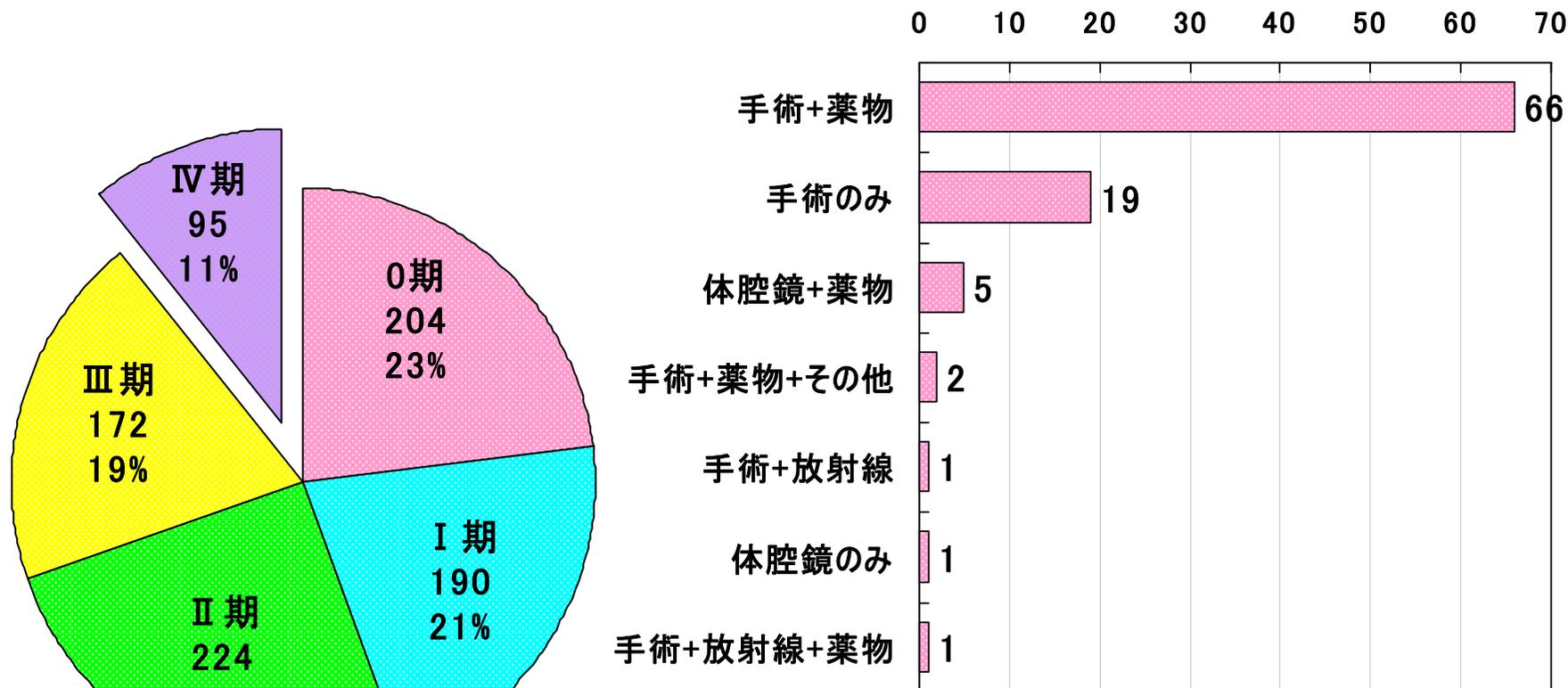


化学療法と組合せの治療を  
施行しなかった症例の個別事由

高齢のため	16例
患者さんの希望	10例
他疾患治療中	16例
他院で処方	5例
認知症	2例
精神状態不穩	2例
その他	2例

# 大腸癌術後病期IV期（UICC）の初回治療法の割合

（2007年～2010年 大腸がん 症例区分2, 3 癌腫のみ 885症例を対象とする）

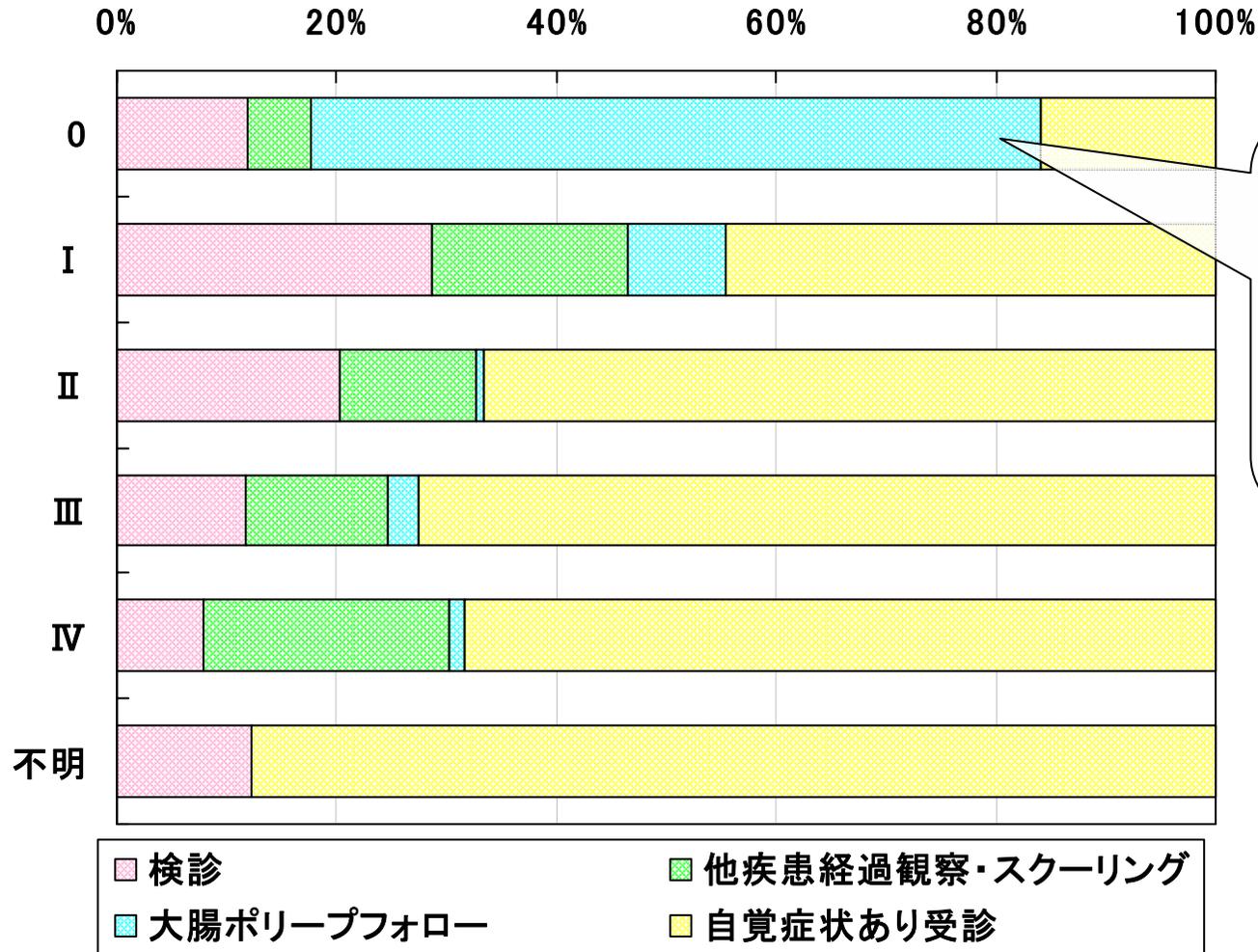


化学療法と組合せの治療を  
施行しなかった症例の個別事由

患者さんの希望	6例
高齢のため	5例
他疾患治療中	3例
転院	3例
その他	3例

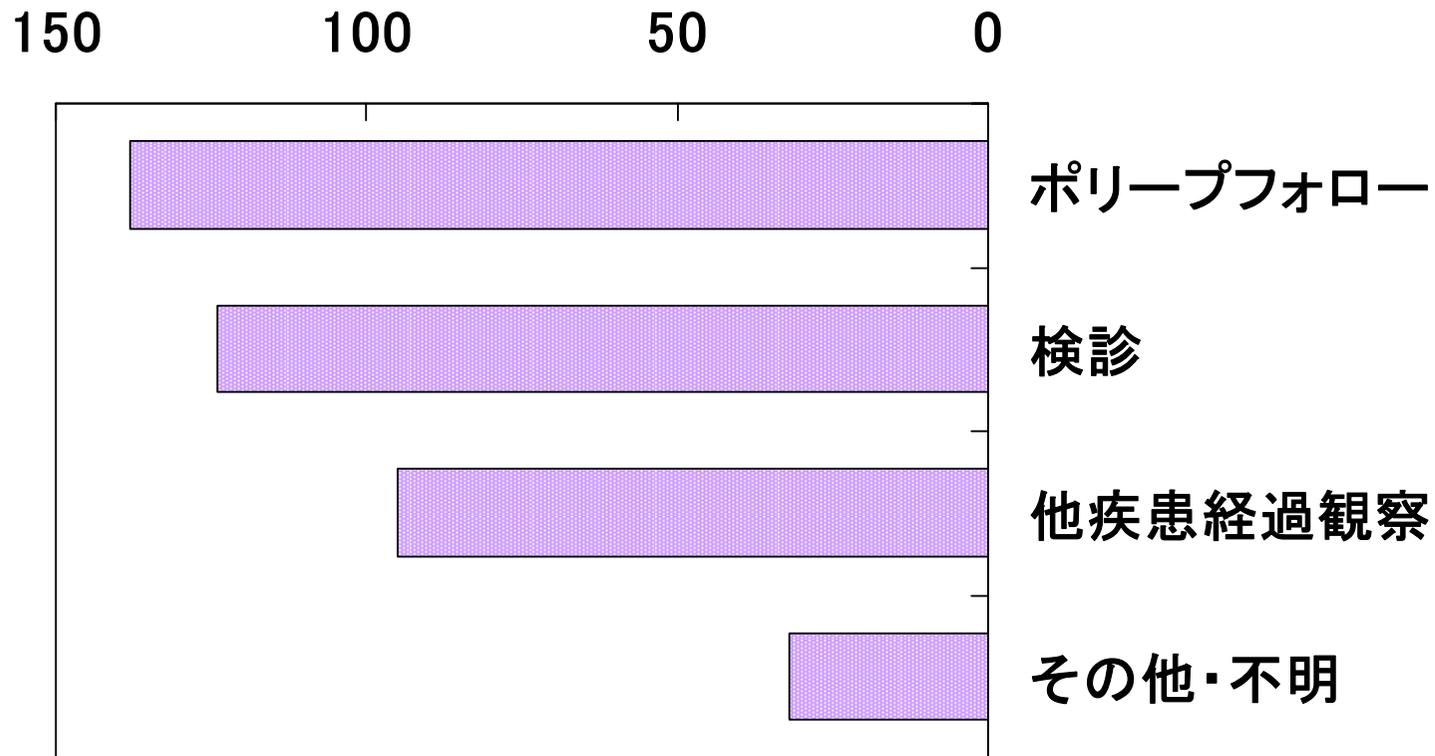
# 大腸癌ステージ別発見経緯の割合

(2007年～2010年 1104症例)



負担の少ない治療(内視鏡など)の早期発見するために、前癌状態の大腸ポリープフォローが非常に有効であることがわかります。

# 発見前自覚症状のない場合の発見経緯 (2007年～2010年 1104症例)



7月26日(火)

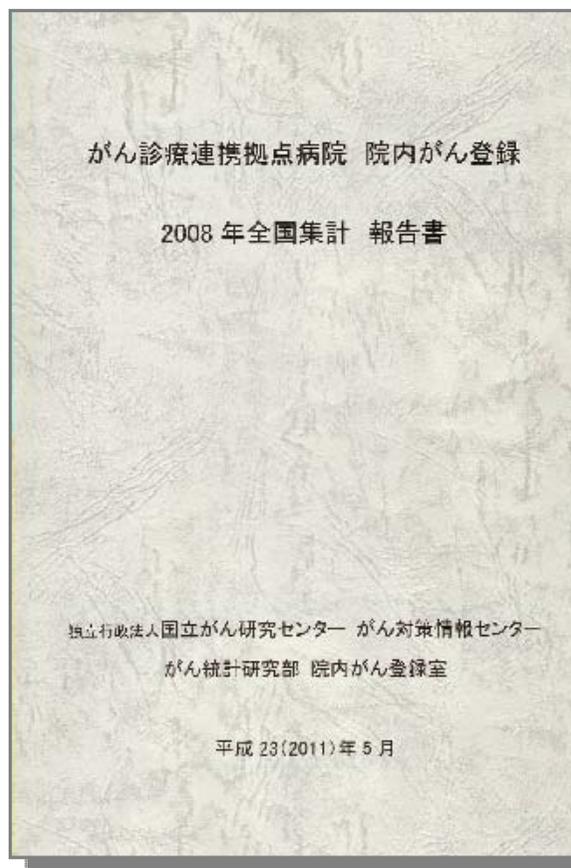
はじめての355施設実名入りの情報

国立がん研究センターがん対策情報センターから  
院内がん登録「施設別集計結果」が一般公開される

「がん診療連携拠点病院 院内がん登録 2008年全国集計報告」

2008年当時 355施設提出

2011年現在 388施設



#20-1 乳癌 (UICC TNM分類 臨床分類)	症例区分: 2, 3 (自施設初回治療症例) (標準)						
	合計	0期	I期	II期	III期	IV期	不明
<b>全国計</b>	<b>32058</b>	<b>3482</b>	<b>12887</b>	<b>11005</b>	<b>2484</b>	<b>1361</b>	<b>875</b>
<b>34広島県</b>	<b>411</b>	<b>52</b>	<b>177</b>	<b>141</b>	<b>26</b>	<b>12</b>	<b>--</b>
★広島大学病院	169	19	87	47	--	--	--
県立広島病院	77	--	42	25	--	--	--
広島市立広島市民病院	411	52	177	141	26	12	--
広島赤十字・原爆病院	49	--	23	14	--	--	--
広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院	48	--	23	11	--	--	--
国立病院機構 呉医療センター	102	--	47	33	12	--	--
国立病院機構 東広島医療センター	49	--	22	19	--	--	--
広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院	80	11	39	20	--	--	--
福山市民病院	55	--	22	18	--	--	--
市立三次中央病院	21	--	12	--	--	--	--
<b>35山口県</b>	<b>50</b>	<b>--</b>	<b>22</b>	<b>19</b>	<b>--</b>	<b>--</b>	<b>--</b>
★山口大学医学部附属病院	108	--	45	44	--	--	--
山口県立総合医療センター	52	--	22	23	--	--	--
国立病院機構 岩国医療センター	50	--	22	19	--	--	--
山口県厚生農業協同組合連合会 周東総合病院	43	--	21	14	--	--	--
総合病院社会保険 徳山中央病院	75	--	27	34	--	--	--
下関市立中央病院	22	--	--	11	--	--	--
総合病院 山口赤十字病院	29	--	11	11	--	--	--
<b>36徳島県</b>	<b>34</b>	<b>--</b>	<b>15</b>	<b>11</b>	<b>--</b>	<b>--</b>	<b>--</b>
★徳島県立中央病院	--	--	--	--	--	--	--
徳島大学病院	149	17	67	49	--	--	--
徳島赤十字病院	34	--	15	11	--	--	--
<b>37香川県</b>	<b>53</b>	<b>--</b>	<b>26</b>	<b>15</b>	<b>--</b>	<b>--</b>	<b>--</b>
★香川大学医学部附属病院	63	--	30	21	--	--	--
香川県立中央病院	56	--	22	27	--	--	--
三豊総合病院	53	--	26	15	--	--	--
高松赤十字病院	47	--	17	15	--	--	--
<b>38愛媛県</b>	<b>33</b>	<b>--</b>	<b>17</b>	<b>--</b>	<b>--</b>	<b>--</b>	<b>--</b>
★国立病院機構 四国がんセンター	390	42	168	130	31	17	--
市立宇和島病院	58	--	32	17	--	--	--
住友別子病院	33	--	17	--	--	--	--
愛媛大学医学部附属病院	46	--	23	14	--	--	--
愛媛県立中央病院	71	--	32	18	--	--	--

## 調査の背景と目的

平成19年4月よりがん対策基本法が施行され、その定める、がん診療の均てん化を推進するために、がん診療連携拠点病院が指定・拡充されてきた。

これらのがん診療連携拠点病院は都道府県および地域におけるがん診療の拠点となり、各種医療機関との有機的な連携を図る役割を持つ共に、院内がん登録の体制の整備を通じて施設の実態を把握し、さらに国レベルでのがん対策の進捗を評価するために、そのデータを国立がんセンターがん対策情報センターに提出することが指定要件として定められている。

本調査の目的は、全国のがん診療連携拠点病院において実施されている院内がん登録のデータを集計することにより、

①各がん種、進行度、その治療の分布を把握し、国や都道府県のがん対策に役立てる

②各施設が全国と比較した自施設のがん診療状況を把握し、がん診療の方向性等を検討する

ための基礎資料を提供することにある。



都道府県+施設名	大腸
東京都 財団法人癌研究会 有明病院	1023
東京都 独立行政法人 国立がん研究センター中央病院	895
千葉県 独立行政法人 国立がん研究センター東病院	611
静岡県 静岡県立静岡がんセンター	595
東京都 東京都立駒込病院	556
埼玉県 埼玉医科大学国際医療センター	418
千葉県 千葉県がんセンター	412
東京都 国立大学法人 東京大学医学部附属病院	411
栃木県 自治医科大学附属病院	396
東京都 日本赤十字社医療センター	358
岩手県 岩手県立中央病院	357
愛知県 名古屋第二赤十字病院	351
東京都 NTT東日本関東病院	346
岡山県 岡山済生会総合病院	339
北海道 医療法人 手稲溪仁会病院	339
富山県 富山県立中央病院	336
青森県 青森県立中央病院	325
新潟県 厚生農業協同組合連合会 長岡中央総合病院	320
大阪府 大阪赤十字病院	320
神奈川県 横浜市立市民病院	316
長崎県 佐世保市立総合病院	312
新潟県 新潟県立がんセンター新潟病院	307
岡山県 財団法人倉敷中央病院	305
神奈川県 国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	305
埼玉県 埼玉県立がんセンター	296
広島県 広島市立広島市民病院	291
兵庫県 兵庫医科大学病院	290
大阪府 大阪医科大学附属病院	290
千葉県 総合病院国保旭中央病院	289
京都府 京都第二赤十字病院	287

# 広島県がん診療連携拠点病院 「院内がん登録」2008年大腸癌初回治療法集計

